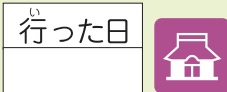


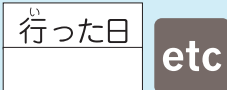
恵美酒神社(えべっさん)

坊勢島の玄関口である奈座港の西の端の山の頂上にあり、瀬戸内海の景色が楽しめます。元慶7年(883)より前に建てられたと伝えられていますが、くわしくは分かっていません。まつられているのは蛭子大神で、毎年坊勢の秋祭りが11月3日、4日に行われています。



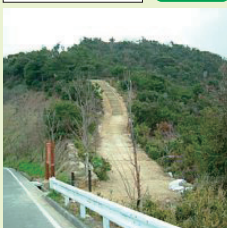
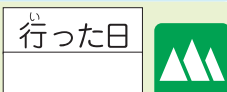
海水浴場

坊勢島の海水浴場は神戸や明石などの海水浴場と比べると、海水がとても透明です。また、あまり人に知られていないので混み合うことがなく、海水浴場全体を見わたせることができますので、小さい子どもを連れて行っても安心です。



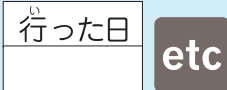
かしの山展望台

かしの山展望台は坊勢島の一番高い山の頂上にあります。ここからは、瀬戸内海の景色が360度見わたせます。西の方には小豆島、時には瀬戸大橋が見えます。東の方には明石海峡大橋や大鳴門橋を見ることができます。坊勢島のまわりには数十の島があり、それらが瀬戸内海の美しい景色となっています。



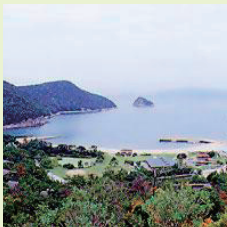
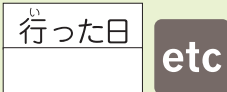
漁船(坊勢)

坊勢島の漁船の数は約1000隻あり、全国でも上位に入ります。カニ・シャコ・カレイをとる底引き網漁やアジ・サバをとる巻き網漁、シラス・イカナゴをとる船引き漁、磯はし漁、カキの養殖、のりの養殖など多くの漁業が行われています。



県立いえしま自然体験センター

西島に「兵庫県立いえしま自然体験センター」があります。カヌー・カヤックなどのマリンスポーツ、キャンプ、海水浴、ハイキングなど、自然の中で親子や友だちと楽しく過ごすことができます。

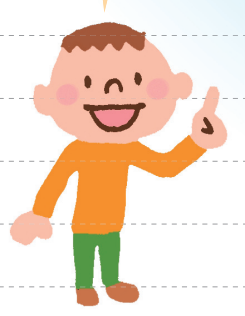


60 坊勢地区

この地区は漁業がとても盛んな地区ですね。どんな漁業が行われているのか調べてみましょう。また大漁旗についても調べてみましょう。



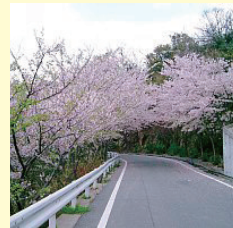
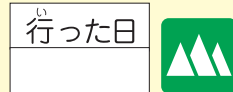
調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



0m 500m 1km



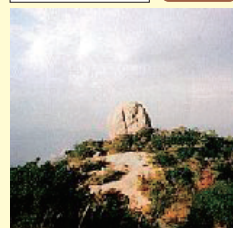
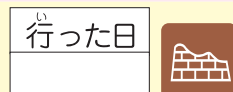
桜のトンネル

定期船の発着場から歩いて約15分のところに、桜のトンネルがあります。桜のトンネルをぬけると、高台から島の三大漁港の一つ、長井港をながめることができます。



神権伝説「弁天島」、海神社(神権さん)

定期船の発着場のそばにあるあざやかな朱色の橋をわたると「海神社」があります。「神権さん」の名前で親しまれ、海神・竜神・弁財天がまつられています。漁師の父にかわって海に身を投げた美しい娘の伝説があり、漁師の守り神となっています。



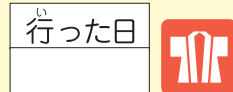
頂上石

西島の山の頂上には頂上石とよばれる高さ8m、周り約25mもあるとても大きな石があります。まるで巨人が山の頂上においたような丸い岩で、『古事記』の国生み神話に出てくる「天の御柱」だともいわれ、注目を集めています。



西ノ浦港

定期船の発着場から島の反対側にある漁港です。西ノ浦の港には、長さ130mもあるさんばし棧橋があります。



ぼうぜパーロンフェスタ、大漁旗

ぼうぜパーロンフェスタは毎年8月第1土曜日に開催されます。京阪神や関東から訪れる人も多く、約1500人が参加します。競争の最後には、坊勢島の三つの港の対抗戦があり、地元の漁師たちが熱い戦いをくり広げます。青い空に舞う豪華で美しい大漁旗を見るのも楽しみです。